

今後さらに取り組むべき課題 に対する意見募集について



募集する意見について

◆ 「今後さらに取り組むべき課題」について、構成員等からの提案、委託調査に加え、以下の内容で広く意見を募集し、議論を深めていく

■ 募集する意見

- 科学技術イノベーション総合戦略における長期ビジョンの目標年次である2030年を想定した新たな社会像と、その実現に向けて取り組むべきICTに関する課題

■ 記述要領

- 上記の意見について、新たな社会像検討の背景や、取り組むべきICTに関する課題の解決が新たな社会像の実現にどう結びつくのかを含め、それぞれ400字以内で記述する

■ 募集期間

- 平成25年12月2日～平成25年12月25日12時

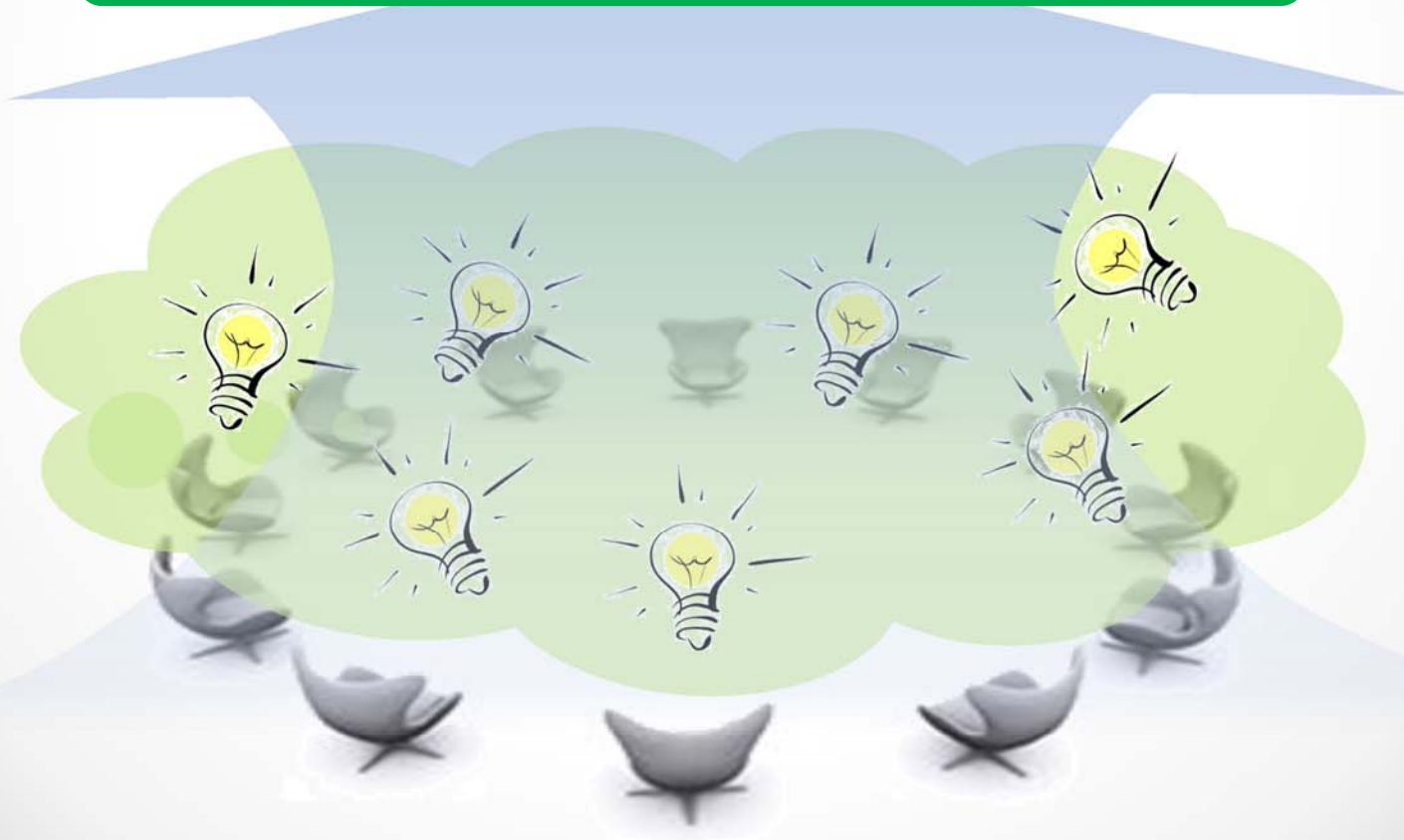
■ その他

- 頂いた意見は公開する
- 意見に加え、検討に有用な情報も募集する

意見の活用について

- ◆ 頂いた意見は、ICT-WGにおける検討材料として活用し、構成員や関係府省との議論のうえ、「今後さらに取り組むべき課題」の設定につなげる。

今後さらに取り組むべき課題



(参考) 意見の例

◆ 例 1

➤ 社会像と背景

- 現在、わが国における少子高齢化傾向はとどまることを知らず、介護福祉が問題となっている。2030年、わが国の人口構成は現在の予測と大きくかわらないが、ICTの進展により、高齢者本人の思考回路を反映する介護ロボットや自動運転車が登場し、誰もが自分の意志を尊重した豊かな暮らしをおくっている。

➤ 取り組むべきICTに関する課題

- 個人の思考を予測する技術：革新的な脳情報解析技術の発展により、個人の思考回路をアルゴリズム化する。ある人がその人の思考アルゴリズムを実装したプログラムと“じゃんけん”すると永遠に勝負がつかない
- 介護ロボットや自動運転車に実装する技術：思考アルゴリズムは厳重な管理のもとクラウド上に保管され、その人の生活を支援する各種機器にそのつど展開する。これにより、他人の意志や画一的な考えに基づく生活支援ではなく、本人の意思を尊重した生活支援を受けることができる

◆ 例 2

➤ 社会像と背景

- 2030年、ICT機器の性能向上やクラウドビジネス等により情報通信技術の利用がさらに加速し、クラウドビジネスの市場は数十兆円規模に拡大している。スマートグリッドの推進、デジタルコンテンツ市場の飛躍的拡大、電子情報を活用した新市場の創出などICT関連産業は隆盛し、通信トラフィックの量は現状より増大している。異なる目的で収集された様々なデータから、他よりもいち早く有益な情報・知見をリアルタイムでいかに抽出できるかが国家・企業の強みとなり、各国が情報社会のトップランナーを目指して熾烈な競争を行っている。

➤ 取り組むべきICTに関する課題

- ICT市場の飛躍的な拡大により、様々な機器がネットワークでつながれ、複数機器の同期を取ってセンシング・通信・クラウド上での処理・データ通信・動作を行うことが必要となってくる。現状の通信遅延時間内でこれを処理することは難しく、スーパーコンピュータレベルの情報機器を数多く駆使しなければ達成できないであろうことも考えられるが、コスト等考慮すると実現は難しい。現状の数十倍以上にも膨れ上がる通信トラフィック量に対して追いつくことのできる超高速通信技術や超高速光通信技術、膨大なデータ量を処理するリアルタイムデータ解析技術、データ搬送手法、暗号化技術が必要である。こういった技術により様々な市場が拓かれていき、将来のネットワーク社会に貢献する。